

○本時の目標

辺の長さやその位置関係、角の大きさに着目してひし形の性質を理解する。

○本時の展開

	教師のはたらきかけ	児童の活動
と ら え る  表  す  比	○前時を振り返り、本時の課題を確認させる	○本時の課題を確認する
	<div data-bbox="619 691 1281 907" data-label="Image"> </div>	
	○平行二組の図形群よりひし形を取り出し、配られた図形を自由に操作しながら「ひみつ」をさがさせる。	○三角定規や分度器やコンパス等で測定したり、図形を折ったり重ねたりしながら「ひみつ」をさがしていく
○見つけた「ひみつ」をカードに書き、黒板にはらせる。	○見つけた「ひみつ」を自分なりの言葉でカードに書き、黒板にはる。	
○発表したものの中に共通のものがあることに気づかせ、それらを辺の長さやその位置関係・角の大きさ等に着目し、まとめさせる。	○黒板に貼られた「ひみつ」と、自分が見つけた「ひみつ」とを比べる。	
	○同じことを言っているものがあるかどうか比べる。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>— 角や辺の数 「角や辺が4つずつある」</li> <li>— 辺 「4つの辺の長さが全部同じで</li> </ul>	

<p>る め 深</p>	<p>○ひし形のひみつは、他の平行二組の図形にもあてはまるだ ろうか。 ○本時をふりかえさせる</p>
<p>る 入</p>	<p>○このような「ひみつ」を持つた図形をひし形と言うことを知らせる。</p>
<p>ひし形にはいろいろな「ひみつ」がある</p>	
<p>ある」 — 平行関係 「向かい合う辺どうしがそれぞれ平行である — 角の大きさ 「向かい合う角どうしがそれぞれ同じ大きさである」</p>	<p>○他の平行二組の図形を思い出し、ひし形の「ひみつ」を考え疑問をもつ ○ひし形の名前をおぼえる。</p>